

第28回飯塚病院TQM活動発表大会

開催日時：2019年10月19日（土） 9:00～13:30（終了予定）

会 場：のがみプレジデントホテル 4F

8:30～ 受付開始・開場（4階 ロビー）

9:00～ 開会

9:05～11:40 口頭発表（全て口頭発表、2会場同時進行で行います）

■第一会場 9サークル（4階 王朝・大和の間） ※終了は11:40

No	部 署	サークル名	テーマ	テーマ選定理由
1	中央3階	肌セレブ	スタッフのMDRPU（医療関連機器圧迫創傷）予防に対する意識・知識を高めMDRPUの発生件数の減少を目指す	中央3階病棟では医療上必要な弾性ストッキング、シーネ、牽引などを使用している患者が多くMDRPU発生リスクが高い。MDRPU予防に対する意識・知識がスタッフにより異なり正しい予防方法、観察も不十分となっていることが考えられる。MDRPU予防に関する意識・知識の向上を目指し、MDRPU発生件数の減少につなげる。
2	臨床工学部	サークル K Thanks	中央手術室における年間定期点検計画に基づいた医療機器定期点検の実施	手術室には多数の医療機器があり、臨床工学技士がそれらの保守管理を行なっている。しかし、様々な要因によって計画通りに定期点検を実施することに難渋している。手術室医療機器の定期点検計画及び点検内容、対象機器の見直し等を行い、手術室医療機器の点検を計画通りに実施できるようにすることが必要であると考えたため。
3	H2救急・E4救急・11B・病床管理	スムーズー2 えりこと愉快的仲間たち	患者さんにとって苦痛と感じる待ち時間を減らす	患者さんが外来から救急病床へスムーズに入院できることで適切な治療を早期に開始できるようにしたい。
4	西2階	クミちゃんに叱られる	せん妄アセスメントの標準化	西2階病棟は、救急病床からの退室患者や高齢者、認知症患者が多く環境の変化によりせん妄を発生しやすい。ルート抜去や転倒リスクがあるため常時付き添いが必要であり、夜勤の限られた人数では、他業務に支障をきたし他患者に対応できない現状がある。スタッフがせん妄患者の対応やアセスメントに悩んでいるため、知識と対応方法を深めるために今回仕組みを作ることとした。
5	がん集学治療センター	あんしんだねー！そだねー♡	アレルギー出現時における初期対応開始までの時間短縮	抗がん剤のアレルギーは重症化すれば命に関わり、さらに今後の治療に大きく関わるためできるだけ早く初期対応ができるかが重要である。現在は発見者が緊急コールで知らせる事でスタッフが集まる仕組みになっているがどこで緊急コールが鳴っているかわかりにくい等の問題点がある。治療の安全性をさらに高め、患者が安心して抗がん剤治療に臨む事ができる仕組みづくりをしたいと考えこのテーマを選定した。
10:20～10:40 休憩				
6	内視鏡センター・臨床工学部	キューピー時短クッキング	患者入れ替え時間の短縮	普段より14Bスタッフ間で内視鏡検査における患者待ち時間が多い印象があった。Drからも予約時間に内視鏡を開始したいとの意見があった。患者入れ替え時間を短縮することは、待ち時間の短縮にもなり予約時間に沿った内視鏡検査に繋がると考えた。業務の無駄の削減や効率化を図ることで、スタッフの負担軽減にもなる為このテーマに決定した。
7	北8階	HAPPY LIFE North8	チームで支える転倒予防	北8階病棟では終末期の患者が多く、意思の尊重に努めケアを行っている。最期は好きなことをさせてあげたいとの希望から転倒につながる事例も多く、また全個室のため目が届きにくく限界を感じることもある。今回、セル看護方式を強化し、患者の安心と安全な環境構築のためチーム連携につなげて転倒を減少させる活動を行っていく。
8	中央手術室・資材課	ほぼ男はつらいよ ～手術室業在編～	中央手術室における、業在物品の見直しを行うことで業在物品に関わる業務の効率化を図る	手術室内には数多くの業在物品が存在し、手術室内各所に配置されている。現状として①物品ごとに使用後の処理方法が異なる②必要な物品がどこに配置されているか不明確③定数管理のための明確な管理方法が決められておらず使用したいときに在庫の補充が間に合わないことがある④不同在庫が存在する、などが日々の業務より問題として浮き彫りになっている。
9	北6階	M A M (ママと赤ちゃん守り隊)	『すこやか外来』における業務標準化によるムダの削減	産科では産後の継続看護として「すこやか外来」を行っている。産科外来のスタッフの減少に伴い、2018年12月より産科病棟のスタッフは火曜日～金曜日の午後、病棟業務の傍ら「すこやか外来」を担当している。その中で担当スタッフによって対応方法にばらつきがあることや新生児の健康状態において正常を逸脱した時の対応に苦慮しているという現状がある。今回、業務の標準化に取り組むことで、ムダの削減を図りたい。

■第二会場 9サークル（4階 万葉・芙蓉の間） ※終了は11:40

No	部 署	サークル名	テーマ	テーマ選定理由
1	東4階	1 UP	認知症ケアの充実 ～レクリエーションの標準化～	2025年問題を迎えるにあたり、入院を機に認知症の症状が増悪し身体疾患の治療を進めることが困難となってくる。そのため身体疾患に対するケアと並行して認知症ケアを行うことが求められる。2017年のTQM活動で当病棟における認知症ケアの基盤はできた。そこで今回レクリエーションの標準化を行い、さらに一つ上をゆく認知症ケアにチャレンジする。
2	薬剤部	業務の鉄人	一包化の返品業務改善	薬剤部では、処方された後に中止・変更になった薬剤等を所定の位置に戻す「返品作業」を行っているが、近年は返品薬が多いことで作業の負担が増加している。そこで今回は返品業務の負担軽減を目指し、このテーマを選択した。
3	西1階	愛full	精神科病棟におけるカンパレンスの無駄の削減 ～精神科看護の充実を目指して～	リエゾン精神科病棟は統合失調症をはじめ、認知症やうつ病など様々な疾患の患者が入院している。また年齢や性別、入院期間や、ADL等も異なり、患者全員に合わせた集団活動を行うことが難しい状況にある。この状況を打開するため、今回、各患者の状態に合わせた活動プログラムを作っていくこととした。

4	医事課	探偵！レセプトスクープ	過月レセプトの適正請求を目指す！	本来、診療報酬のレセプト請求は診療翌月に行うものである。しかし、その中の一部は患者の保険証忘れなどで過月レセプトとして保険証が確認できるまで病院で保留される。医事課ではこの保留期間を少しでも短くできる様々な工夫を重ねてきたが、その作業負担が大きくなってきている為改善対象とした。 ※過月レセプトの適正請求とは保険証確認後、翌月に請求することを指します。
5	中央5階	W Heart ～みんなでみんなでHappy!!～	業務における無駄を省き 時間外業務の削減	心臓血管外科・循環器内科では当日カテーテル治療や手術、検査などイベントが多く、また入退院・転棟・退室が多い病棟である。病棟の現状は日々の業務の遂行に精一杯で患者のベッドサイドケアが不足している。そこで、業務内容の見直しを行うことで患者のベッドサイドケアの充実や時間外の削減に繋げて患者にとっても看護師にとってもHappyでWin-Winな環境を作りたいと考えたから。
10：20～10：40 休憩				
6	小児センター・漢方診療科・ 眼科・耳鼻咽喉科	ひよっこりNS	サポートNS育成による働き方改革	外来看護師には、受診患者の中から看護介入を必要としている患者を見つけ、適切な介入を行う能力が求められる。しかし、スタッフの急な休み、重症度の高い患者の受診、患者急変などが起きた場合は、自部署スタッフのみでは、対応に無理が生じる。そんな時、サポートNSがいれば、看護介入を必要としている患者にタイムリーな介入が出来るのではないかと考え、サポートNS育成に取り組むことにした。
7	11B・12A・12B・14A・ 南2A・南3B	ホッと もっと！！	退院後訪問日程調整の プロセスをスリム化したい	2018年度、外来部門が退院後訪問指導に積極的に参入できるよういくつかの取り組みを行ってきた。しかし、訪問日の決定にあたり、病棟と外来との部門間での日程調整に時間を要し、関係者の業務も複数回中断され、様々な支障が出ていたと感じることがあった。そのため、日程調整のプロセスに潜むムダを削減し、簡素化を図ることで、業務中断などの支障を無くしたいと考えた。
8	東7階・東8階・13B	ダ・ヴィンチ X	外来と病棟間の 情報共有に要する時間と業務の短縮	外科手術施行し退院後、初めて外来受診する患者情報について、外来は患者情報収集に時間を要している。病棟では、外来が何を知りたいか知らない状況で看護サマリーや退院時の記録を行っている。よって患者の情報共有において外来と病棟の連携がうまくいっていないのではないかと考え、外来と病棟間の連携プロセスの確立を目指し、このテーマを選定した。
9	医事課 (病棟クラーク)	今松再生工場	退院会計時における 患者情報確認業務の削減 ～ジャストインタイム～	「退院する時は、早く帰りたい。」「入院したら早くお部屋へ案内してもらいたい。」という患者さんの希望に添えるように、退院会計を正確かつ迅速に行い、退院された病床上、当日新たな入院患者さんを速やかに迎え入れることが理想である。退院会計は異動票に基づいて入力を行うが異動票の項目に未確認内容が残っていると確認の為に時間を取られ、退院会計に要する時間を延ばしてしまう。

11：55～12：25 フォローアップ報告（4階 王朝・大和・万葉・芙蓉の間）

No	部署	サークル名	テーマ	テーマ選定理由
1	北7階	まごころ1Up！	日勤残業時間の削減 ～安全性・まごころ 1UP～	慢性的な残業が目立ち、スタッフの疲労や緊急業務も目立っており、タイムスケジュール通り業務が行えていない。モチベーション低下も起きており、結果的に患者へまごころが伝わっているか疑問を抱いた。現状からタイムスケジュール通り業務遂行できない原因の抽出と改善、緊急時の補完体制を充実させ業務の効率化を図り、患者へまごころアップと私生活の充実で笑顔で楽しく働きたい。
2	画像診療科・中央放射線部	X-FILE	CT検査の問診票の不備をなくそう	CT・MR検査において同意書・問診表は必須の書類である。近年の検査件数の大幅な増加に伴い、以前は軽微であった書類の不備もかなりの頻度で散見されるようになってきた。これらの不備は検査の遅延を招き、業務効率を低下させる問題の一つとなっている。同意書・問診表の内容・確認の手順についての標準的な取り決めを定めることにより、問題の解決を図ることを目的としてこのテーマを選定した。

12：40～13：30 表彰・総評（4階 王朝・大和・万葉・芙蓉の間）



《 4階ロビー：(株)麻生情報システム 》

飯塚病院で開発した以下のシステムの展示をしております。	
診療状況照会システム	電子カルテのDBを直接参照し、リアルタイムに診療状況を可視化します。 院内の全体状況、入院外来状況、手術状況、看護必要度、診療費状況をグラフで表現します。
重症度、医療・看護必要度分析システム	重症度、医療・看護必要度のリアルタイムな可視化を実現します。多角的に分析することで、患者数ではなく看護量による適切な看護要員の配置が可能となり、各病棟の看護師の業務量を均一化することが可能です。
経営管理システム	病院内に蓄積された重要なデータを集約し、病院経営と医療の質向上の為に役立つデータへと進化させ、病院経営の諸問題を明らかにし、その理想とする将来像へと導きます。
診療原価照会システム	診療内容の違いによるコストのバラつきをわかりやすく表現することで、健全経営継続のために診療部門が取り組むべき課題を明確にします。
健診支援システム	事前準備業務からフォロー業務まで、健診部門の全ての業務を幅広くサポートします。 現場スタッフの声を取り入れ、更に改善工夫して作り上げたシステムです。
物品管理システム	定数補充方式、不在庫管理、部署間移動の徹底により院内のデッドストックを大幅に削減します。 医事請求漏れ防止や経営管理指標への活用も可能です。